

土砂災害ハザードマップ

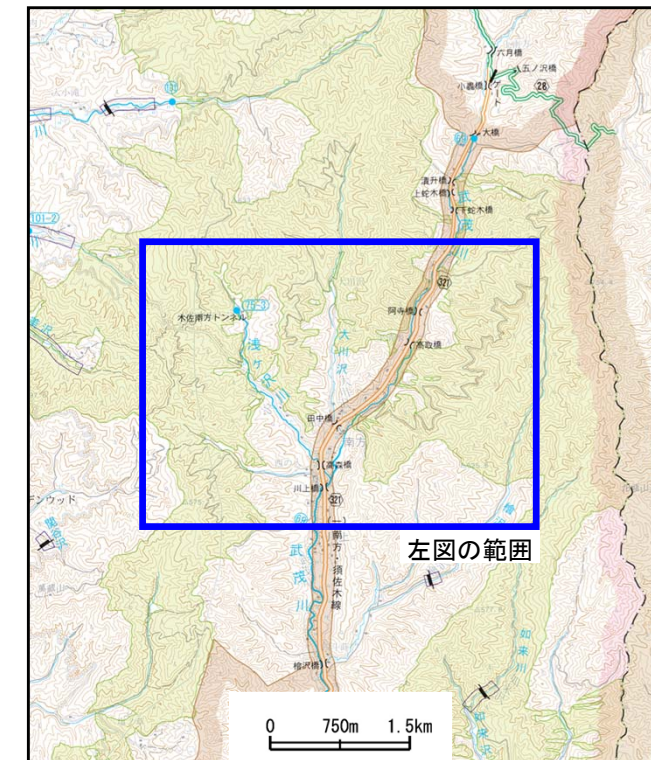
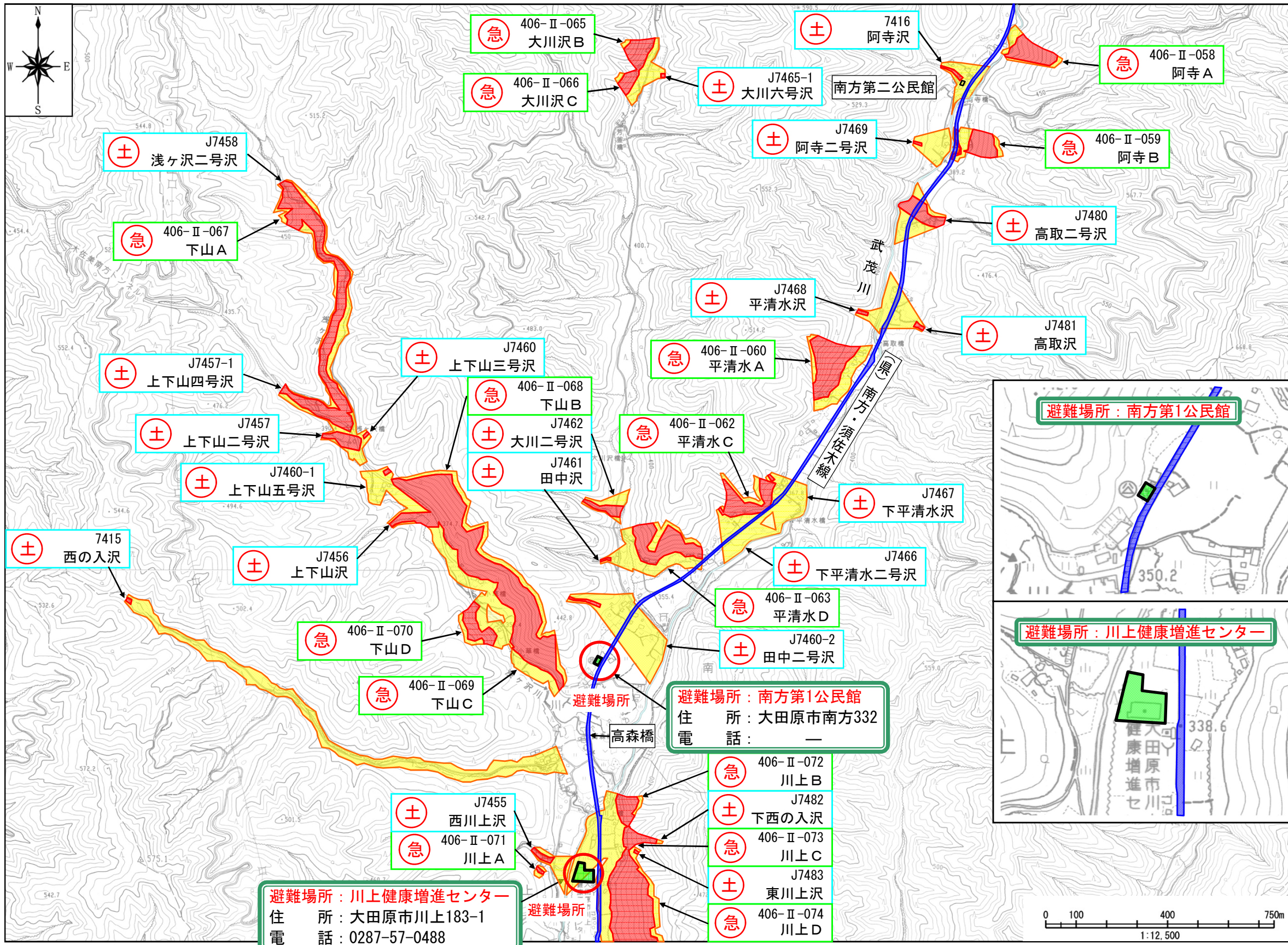
大田原市 南方②地区

黄色で塗りつぶされた範囲（土砂災害警戒区域）は、『土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域』です。

赤色で塗りつぶされた範囲（土砂災害特別警戒区域）は、『土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域』です。

・土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となりますので、注意してください。

・また、土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や溪流、避難場所などをよく確認しましょう。



大田原土木事務所管内図

項目	記号
土砂災害警戒区域	
土砂災害特別警戒区域	
避難場所	
主要な道路	
災害時要援護者関連施設	
急傾斜地崩壊危険箇所	
土石流危険溪流	

お問い合わせ先
大田原市 危機管理課
電話：0287-23-1115

土砂災害に備えて

大田原市 南方②地区

大雨の時など避難の際に必要なとなりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

① 土砂災害警戒区域や主要な道路・避難場所等を確認しておきましょう！
土砂災害ハザードマップにすべて記載されています。

② 雨が強くなってきたら、積極的に雨量情報・予報・警報等の情報を
入手しましょう！

◎まずはテレビ・ラジオ等で気象情報を確認しましょう。

とちぎ土砂災害警戒情報

パソコン http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/dosya_keikai/
携帯電話 http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/dosya_keikai/m

とちぎリアルタイム雨量・河川水位観測情報

パソコン <http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/>
携帯電話 <http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/m>

大田原土木事務所災害電話応答システム

電話 0287-23-7452
雨量や河川の水位、災害警報がわかります。

③ 前兆現象を見かけたら、直ちに市役所・自治会長に連絡しましょう！

土砂災害の種類	前兆現象
がけ崩れ	<ul style="list-style-type: none"> がけに割れ目が見える がけから水がわきでている がけから小石がぱらぱらと落ちてくる
土石流	<ul style="list-style-type: none"> 急に川の流が濁り流木が混ざっている 山鳴りがする 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
地すべり	<ul style="list-style-type: none"> 沢や井戸の水が濁る 地面にひび割れができる 斜面から水がふき出す

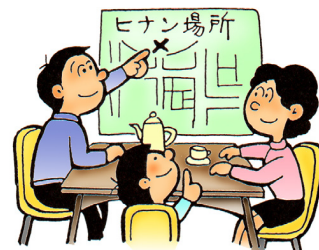
④ 避難勧告などの連絡があったら、直ちに避難しましょう！

⑤ 避難の際はこんなことに気をつけましょう！

◎避難場所に避難する場合は、土砂災害ハザードマップの土砂災害警戒区域をできるだけ避け、安全を確認して避難しましょう。

◎溪流から直角方向に避難し、できるだけ溪流から離れましょう。

災害時の連絡体制



①避難場所：川上健康増進センター

住所：大田原市川上 183-1

電話：0287-57-0488

②避難場所：南方第1公民館

住所：大田原市南方 332

電話：-

◎避難準備情報が出たら・・・

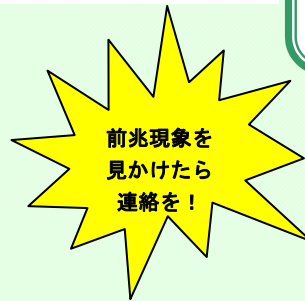
家族等との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を始めて下さい。体の不自由な人、お年寄りや子供は、早めに避難しましょう。

◎避難勧告が出たら・・・

土砂災害ハザードマップで指定されている避難場所へ、避難行動を始めて下さい。

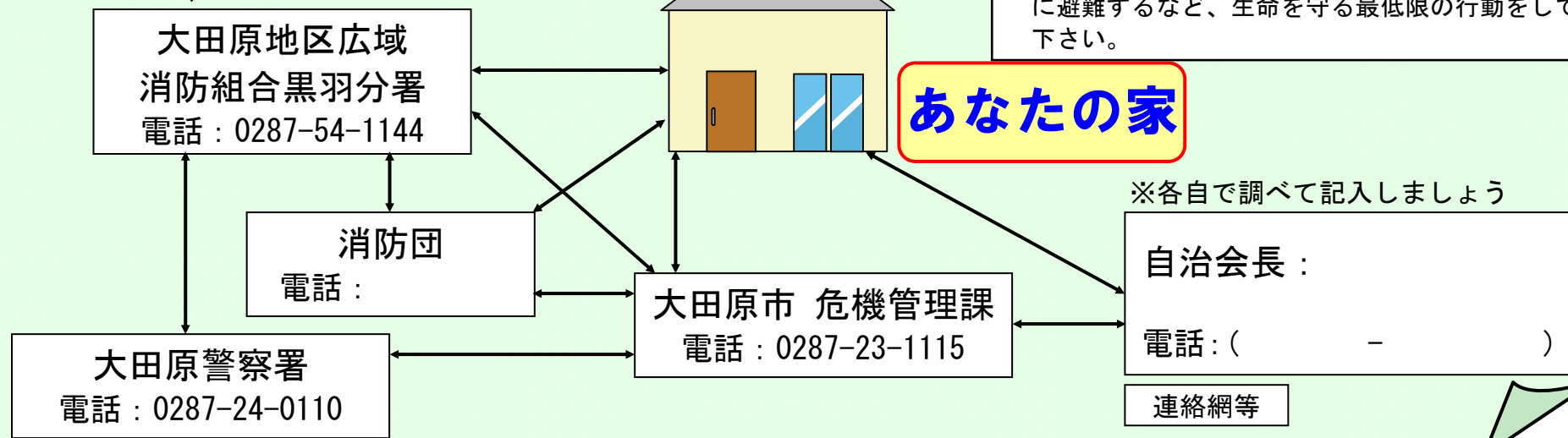
◎避難指示が出たら・・・

避難していない場合は避難行動に移るとともに、避難場所への避難が困難な場合には、周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の堅固な建物）の2階以上（斜面と反対側の部屋）に避難するなど、生命を守る最低限の行動をして下さい。



避難

近隣者と声を掛け合い
安全な避難を心がけよう



雨の強さと災害の発生状況

1時間雨量	人が受けるイメージ	災害発生状況 ※
10~20 mm	ザーザーと降る	長く続くときは注意が必要。
20~30 mm	どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれることがある。
30~50 mm	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ・がけ崩れがおきやすくなる。都市では下水管から雨水があふれることがある。
50~80 mm	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80 mm以上	息苦しくなるような圧迫感がある・恐怖を感じる	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

※通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

NTT 災害用伝言ダイヤル（自宅以外の電話や携帯電話からも使えます）

①伝言を録音する場合 1 7 1 + 1 + 0 2 8 7 + ××-××××（自宅の電話番号6桁）

②伝言を再生する場合 1 7 1 + 2 + 0 2 8 7 + ××-××××（自宅の電話番号6桁）

NTT web171（災害用ブロードバンド伝言板）

パソコンから <https://www.web171.jp/>（利用方法はホームページをご覧ください）

